

安全情報（事例紹介）

令和 6 年 2 月 20 日
航空局安全部安全政策課

今般、回転翼航空機（航空運送事業者）において、操縦士が意図しない操縦操作が行われトランスミッション（TQ/FMI）の運用限界を超過した事例がありました。

本事例については、自家用運航者の皆様にも有益な情報であるところ、事業者様からの情報を基に事例紹介させていただきます。

同種事例の未然防止及び更なる安全運航にお役立ていただければ幸いです。

【事例】

離陸上昇中、機体が揺れ急激に上昇したと同時に制限値超過を警告するゴング音を確認したため、計器表示(VEMD)を確認したところトランスミッションの限界値を超過した可能性がある数値を認めた。（詳細点検にて運用限界超過を確認）

【推定原因】※写真参照

離陸上昇時中、コレクティブピッチから手を離し、機内交話装置のボリュームを調整するために手を離れた時に、服の袖がコレクティブピッチに引っ掛かり、その結果、意図しない急激なピッチ上げ操作が発生したため、機体の急上昇と制限値超過が発生したものと推定される。

操縦者の皆様におかれましては、操縦装置等の操作に着衣等が干渉しないことについて、十分な注意をお願いします。

